

南硫黄調査隊・集結！

2019/1/13(日)

東京に
南硫黄が
出現する！

貴重な生態映像！

サバイバルな調査の秘話！

多分野の調査結果！

シンポジウム南硫黄島

東京の原生自然環境保全地域
冒険・発見・最後の秘境！

2019年1月13日（日曜日） 10時から17時
新宿・都庁都民ホール（都議会議事堂1階）
東京都・首都大学東京

シンポジウム南硫黄島 プログラム

2019年1月13日（日曜日） 10時から17時
新宿・都庁都民ホール（都議会議事堂1階）

【第一部 10時～12時】

南硫黄島の魅力、調査隊の真実を、特別映像を交えてお伝えします。

東京都挨拶

Making of 南硫黄島学術調査隊（総隊長 小笠原自然文化研究所 鈴木 創）

海上のアルプスに挑む（山岳隊長 山岳ガイド Mt.石井スーツ 天野和明）

南の島は海に限るぜ！（海洋隊長 タバタサベシ海神 山田鉄也）

実録！南硫黄島調査の真実（記録班 NHK）

首都大学東京挨拶

【昼休み 12時～13時】

調査隊とのふれあい体験タイム、研究者によるポスターセッション

【第二部 13時～15時】

命がけで持ち帰った研究成果と知見。さまざまな生物の姿と共に紹介します。

南硫黄島の自然の魅力を思い知れ（首都大学東京 可知直毅）

霧のむこうのふしぎな植物（京都大学 高山浩司）

希少生態系土壌動物物語（ふじのくに地球環境史ミュージアム 岸本 年郎、
神奈川県立生命の星・地球博物館 荻部 治紀）

こだまの来し方 陸産貝類（東北大学 千葉 聡）

みんなカニを好きになれ！（小笠原自然文化研究所 佐々木 哲朗）

昼飛ぶオオコウモリの謎解き10年（小笠原自然文化研究所 鈴木 創）

【第三部 15時15分～17時】

最後の秘境！～原生自然の幾年月～ 2007年調査から10年、果たして南硫黄島の自然はどのように変わったのでしょうか。そして、この島の自然を守るためには、何をすればいいのでしょうか。島の変化を見ながら、南硫黄の現在と未来について考えます。

10年、長いか、短いか（日本自然保護協会 朱宮 文晴）

原始の島の10年間 虫の巻（神奈川県立生命の星・地球博物館 荻部 治紀、
自然環境研究センター 森 英章）

この島は海鳥が作る島（森林総合研究所 川上 和人氏）

南硫黄島 写真・パネル展

新宿・都政ギャラリー（都議会議事堂）

1月22日から30日（26日を除く）

詳しくはこちら

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2018/12/10/04.html>

<https://www.tmu.ac.jp/news/topics/18961.html>

東京都・首都大学東京

協力：小笠原自然文化研究所、ボニンインタープリター協会、（公財）東京都公園協会、
南硫黄島自然環境調査隊2017、神奈川県立生命の星・地球博物館、
ふじのくに地球環境史ミュージアム、国立科学博物館